

神路ダム・磯部浄水場他施設環境保全業務特記仕様書

第1 適用

この仕様書は市が発注する神路ダム・磯部浄水場他施設環境保全業務（以下「業務」という。）に適用する。

第2 目的

業務は、神路ダムの適正な管理、神路ダム・導水管路敷・磯部浄水場内・磯部浄水場周辺・恵利原調整池周辺・送水管路敷の環境美化を目的に、除草、集草、散在塵芥処理（木片等）を行うものとする。

第3 業務の内容

(1) 業務の概要は次のとおりとする。

	神路ダム・周辺	導水管路敷	浄水場・周辺	恵利原調整池周辺	送水管路敷
機械除草（法面）	ダム堤体（下流側）				
機械除草（一般）	ダム周辺・ダム艇庫周辺	導水管路敷	場内・周辺	調整池周辺	神明ポンプ所
機械除草（道路）	ダム堤体道路			調整池周辺道路	池田川・穴川・鶴方
人力除草（一般）	ダム堤体（ダム湖側）				
散在塵芥処理	ダム堤体（ダム湖内側）				
路肩清掃	ダム周回道路				
側溝清掃	ダム周回道路			調整池周辺	
タンク周り除草				タンク周り	

(2) 堤防除草については、地上高 10 c m 以下、機械除草については、地上高 5 c m 程度に刈り込むものとする。

(3) 神路ダム周回道路について指定する部分の路肩清掃をするものとする。

(4) 恵利原調整池周辺について指定する側溝の清掃をするものとする。

(5) 磯部浄水場内及び周辺について指定する箇所の機械除草・芝刈りを実施するものとする。

第4 刈草等の処分

- (1) 枝等は、太さ 10 c m 以下、長さ 100 c m 以下に切断し、刈草とともに迫子最終処分場に搬入することとする。やむを得ず志摩市大王一般廃棄物最終処分場（波切）へ搬入する場合は、事前に協議するものとし、搬入先が変更となった場合は設計変更を行わないものとする。
- (2) 受注者は、業務実施に伴って生ずる土砂、汚泥等の廃棄物は発注者が指定する場所に運搬し、処分するものとする。
- (3) 受注者は、業務実施に伴って生ずる空ビン・空き缶等の分別を行い、関係法令及び条例を遵守し、受注者の責任において適正に処分するものとする。
- (4) 受注者は、作業で発生した刈草等を現場に放置せず、当日において処分し、良好な現場管理を行うものとする。
- (5) 受注者は、刈草等を処分場へ搬入する際には、搬入記録（日時、搬入量、搬入回数）、搬入状況写真（搬入毎に撮影したもの）を提出するものとする。

第5 作業時期

- (1) 除草工の施工時期については、1 回目の除草は7月上旬から8月中旬まで、2 回目の除草は10月中旬から11月下旬までに実施するものとし、やむを得ず履行できない場合については発注者と協議するものとする。
- (2) 業務の作業は、官公庁の休日又は夜間については作業を行わないものとし、やむを得ず作業を行う場合は事前に理由を付した書面を提出し、発注者と協議するものとする。
- (3) 散在塵芥処理工（木片等）の施工時期は除草工と併せて行うものとする。

第6 通報等

業務実施中に道路及び法面の陥没、亀裂等の異常箇所を発見したときは、すみやかにその状況を監督職員に報告するものとする。

第7 発注者の承認、確認等

- (1) 業務着手前に、作業工程・作業方法・作業範囲・処分方法等について、発注者と打合せを行い、承認を得るものとする。
- (2) 除草作業終了後は、段階確認により発注者が確認を行うものとする。
- (3) 散在塵芥処理（木片等）作業終了後は、段階確認により発注者が確認

を行うものとする。

- (4) 受注者は、刈草及び枝等を堆肥化などに活用して処分する場合は、発注者と協議し、承認を得るものとする。
- (5) 受注者は、発注者が立会を指定した業務については、発注者の立会を得て実施するものとする。
- (6) 受注者は、業務実施にあたり、発注者の立会を必要と認めたときは、発注者に立会いを求めることができるものとする。
- (7) 受注者は、業務実施に当たっては、業務計画書、工事写真、その他出来形の確認に必要な資料を作成し、提出するものとする。
- (8) 受注者は、工事写真を撮影する際には、施工の場所および規模が判別できるように同一位置から業務の着手前、作業中及び完了後の状況を撮影したものを提出するものとする。

第8 環境対策

- (1) 業務は、水道用水の水源である神路ダム及び水道用水を供給する施設の周辺の除草であるため、衛生的見地により十分注意を払うものとする。
- (2) 作業中は、既設構造物及び樹木・芝等に損傷を与えないよう留意するものとする。万一、損傷を与えた場合は、受注者の負担においてこれを補修するものとする。
- (3) 除草の際、隣接地、他の施設等に刈草や塵芥等が飛散しないように努めるものとする。
- (4) 受注者は、業務が完了したときは、直ちに後片付け及び清掃等を行うものとする。

第9 交通規制・安全対策

- (1) 受注者は、本業務において交通規制を必要とするときは、あらかじめ発注者に申し出てその指示に従わなければならないものとする。
- (2) 受注者は、本業務において交通に危険を及ぼす恐れがあるときは、バリケード、保安ロープ、セーフティコーン、赤色灯、標識等によるほか、必要に応じ 交通整理員を配置して交通の安全を確保しなければならないものとする。

第10 提出書類

業務において提出する書類は、次のとおりとする。

- ①業務着手届

- ②実施計画書（工程表）
- ③施工計画書
- ④現場代理人選任通知書
- ⑤建設業退職金共済事業に係る証紙購入状況報告書
- ⑥段階確認書
- ⑦業務実施報告書（工事履行報告書、出来形管理資料）
- ⑧搬入記録・搬入状況写真
- ⑨工事写真
- ⑩完成写真
- ⑪業務委託完成報告書
- ⑫誓約書（カギ借用）
- ⑬その他監督職員の指示する書類

第11 適用条件

業務は、下記に示す図書を適用及び準用する。

- ①三重県公共工事共通仕様書